



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

バーゼルワールド2016

パテック フィリップ ジュネーブ
2016年3月

パテック フィリップ 年次カレンダー5396 モデル： 年次カレンダー誕生20周年を記念する第22番目のモデル

2016年は、1年に1回のみ日付調整が必要な、特許取得のパテック フィリップの年次カレンダーが誕生20周年を迎える年である。過去20年間にわたり、この有用でユーザー・フレンドリーなコンプリケーションは、さまざまな文字盤を備えた、ゴールドやプラチナ仕様のモデルが発表されてきた。これを記念して、マニュファクチュール パテック フィリップは年次カレンダーの新作5396モデルを発表する。これは記念タイムピースではないが、1996年以来創作されてきた21種類におよぶモデルに続き、巧みにリニューアルされ、洗練された第22番目のモデルである。新しい5396モデルは、18金ホワイトゴールド（アントラサイト・ソレイユ文字盤）および18金ローズゴールド（シルバー・オパール文字盤）がラインナップされる。

パテック フィリップの年次カレンダー5396モデルは、親しみある、しかし同時に新しいルックスのタイムピースである。よく知られたデザイン要素を統合しつつ、これらをタイムレスでありながら革新的な、新しいスタイルに昇華させているのである。最初の要素であるケースのフォルムは、1932年、バウハウス運動にインスピレーションを得て創作され、《機能がフォルムを決定する》という思想を時計界にもたらした96モデルを源とする、カラトラバのパーソナリティを彷彿させる。その圧倒的な成功により今日、カラトラバはクラシックなラウンド型時計の模範となっている。新しい年次カレンダー5396モデルは、エレガントにカーブしたラグと滑らかにポリッシュ仕上げされたベゼルが、このラウンド型ケースとシームレスに融合している。ベゼルに保持されたサファイヤクリスタル・ガラスは曲面を強調し、時計全体にボリューム感ときわめてコンテンポラリーなルックスを与えている。

親しみある、しかし新しいルックス

サファイヤクリスタル・ガラスに保護された文字盤も、この新作の時を超越したパーソナリティを完璧に体現している。親しみある要素が巧みに組み合わせられ、新しさを生み出している。曜日と月名表示窓が左右に並んだ《ダブル・ギッシェ》が文字盤上部に配置され、6時位置には大型の日付表示窓を備える。文字盤の下部を占める24時間表示サブダイヤルとムーンフェイズ表示が、これらの表示窓との視覚的なバランスを実現している。このレイアウトは、今日オークション市場で最高価格記録を更新し続ける1940～1950年代のパテック フィリップ永久カレンダーのそれを彷彿させる。唯一の違いは、歴史的モデルにおいて日付指針表示サブダイヤルが占めていた場所に、ムーンフェイズを統合した24時間表示サブダイヤルが置かれているという点である。

明晰で読みやすい、クラシックな時刻表示に目を向けよう。ゴールドの微細なパール分インデックスの列が、立体的な効果を持つ18金ゴールド植字ブregé数字の外周を縁取る。これらはドフィース型時・分針とスリムな秒針との優美なハーモニーを醸し出している。ドフィース型指針のスマートで鋭利なフォルムは、きわめて高度なクラフトマンシップの賜物である。中央に走るシャープな縁と、先端に向かって細くなる入念に研磨された2つの面は、製作工程においても、取り付け作業においても、誤差やミスを一切許容しない。



完璧な手づくりの機械式ムーブメント

新しい年次カレンダー5396モデルの心臓部は、1年間にわたり正確な日付表示を行う自動巻ムーブメント、キャリバー324 S QA LU 24Hである。カレンダーは1年に1回のみ、2月から3月に変わる際に調整が必要である。これはケースの調整ボタンにより、数秒で行うことができる。調整後は再び1年間、正確な日付表示を続ける。一方ムーブメントのフェイズ表示は、超高精度な減速輪列により122年毎にわずか1日分の調整で済む。このように小さい誤差は1世代の間には実用上何の問題も生じない。いかに高精度で信頼性の高いムーブメントであるかを物語るエピソードである。キャリバー324 S QA LU 24Hの精緻な仕上がり的一端はサファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。ロジウムめっきされた受け（ブリッジ）は滑らかな面取りを施し、表面はコート・ド・ジュネーブで装飾され、ムーブメント番号などが刻まれ、彫り込んだ部分には金めっきが施されている。大型の21金イエローゴールド自動巻ローターはカラトラバ十字を刻印し、サーキュラー・コート・ド・ジュネーブで装飾され、中央にはペルラージュ、面取りされた外周には渦巻模様（コリマソナージュ）が施されている。さらに爪石（ルビー）が赤く輝いている。卓越した計時精度は、パテック フィリップ特許Gyromax®テンプレと革新的なシリコン素材Silinvar®製のSpiromax®髭ぜんまいにより保証されている。パテック フィリップ・シール認定規準に準拠し、日差は-3~+2秒以内となっている。これはすべての一般的なクロノメーター規格を上回る性能である。

対照的なパーソナリティを持つ2つのバージョン

パテック フィリップの新しい年次カレンダー5396モデルの2つのバージョンは、ケース素材と文字盤カラーが異なるだけでなく、2つの対照的なパーソナリティを追求している。クラシックでエレガントな18金ローズゴールド（5N）モデルは、シルバー・オパール文字盤、18金ローズゴールド（5N）のブレゲ数字、インデックス、指針、およびブリリアント・チョコレートブラウンのアリゲーター・バンドと18金ローズゴールド（5N）のカラトラバ十字付折り畳み式バックルを備える。5Nのローズゴールドが採用されたのは、より赤みがかった色調が与える伝統的な雰囲気のためである。今ひとつの18金ホワイトゴールド・モデルはコンテンポラリーでテクニカルなルックスを持ち、神秘的な輝きのソレイユ（サンバースト）仕上げ電気めっきアントラサイト文字盤に18金ホワイトゴールドのブレゲ数字、インデックス、指針、およびマット・ブラックのラージ・スクエア・アリゲーター・バンドと18金ホワイトゴールドのカラトラバ十字付折り畳み式バックルを備える。さて紳士諸君はどちらをお好みだろうか？

PRESS



《報道資料》 ページ 3

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018 (直通)

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com>





技術仕様

パテック フィリップ 年次カレンダー5396モデル

ムーブメント	キャリバー324 S QA LU 24H 自動巻ムーブメント、年次カレンダー、24時間表示サブダイヤル、ムーンフェイズ、センターセコンド
直径：	33.3 mm (基本キャリバー26 mm、年次カレンダー・モジュール33.3 mm)
厚さ：	5.78 mm (基本キャリバー3.3 mm、年次カレンダー・モジュール2.48 mm)
部品総数：	347個
石数：	34石
連続駆動可能時間：	最小35時間、最大45時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式21金中央ローター
テンプ：	Gyromax®
振動数：	28,800 振動 (片道) /時 (4 Hz)
髭ゼンマイ：	Spiromax®
髭持ち：	可動式
セッティング機能：	リュウズの2位置 ・引き出した位置： 時刻合わせ ・押し込んだ位置： ぜんまいの巻き上げ
表示：	指針表示： ・時、分、秒 ・24時間表示 表示窓： ・曜日、月、日付 ・ムーンフェイズ
調整ボタン：	・曜日調整 (10時位置) ・月調整 (2時位置) ・日付調整 (4時位置) ・ムーンフェイズ調整 (8時位置)
認定印：	パテック フィリップ・シール





5396R モデルの外装 (18金ローズゴールド5N)

- ケース： 18金ローズゴールド (5N)
サファイヤクリスタル・バック
3気圧防水
- ケース寸法： 直 径： 38.50 mm
長 さ： 46.8 mm (ラグ~ラグ)
幅 : 40.45 mm (3時~9時、リュウズを含む)
厚 さ： 11.2 mm (サファイヤクリスタル・ガラス~サファイヤクリスタル・バック)
ラグ間隔： 21 mm
- 文字盤： 真鍮製シルバー・オパール、18金ローズゴールド (5N) 植字ブレゲ数字、18金ローズ
ゴールド (5N) 分インデックス
- 指針： ・ ポリッシュ仕上げ18金ローズゴールド (5N) ドフィーヌ型時・分針
・ 18金ローズゴールド (5N) プレート銅ベース合金 (Pfinodal) 秒針
・ 18金ローズゴールド (5N) リーフ型24時間表示針
- 革バンド： ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはブリリアント・チョコ
コレートブラウン、18金ローズゴールド (5N) のカラトラバ十字付折り畳み式バックル付

5396R モデルの外装 (18金ホワイトゴールド)

- ケース： 18金ホワイトゴールド
サファイヤクリスタル・バック
3気圧防水
- ケース寸法： 直 径： 38.50 mm
長 さ： 46.8 mm (ラグ~ラグ)
幅 : 40.45 mm (3時~9時、リュウズを含む)
厚 さ： 11.2 mm (サファイヤクリスタル・ガラス~サファイヤクリスタル・バック)
ラグ間隔： 21 mm
- 文字盤： 真鍮製電気めっきアントラサイト・ソレイユ、18金ホワイトゴールド植字ブレゲ数字、18
金ホワイトゴールド分インデックス
- 指針： ・ ポリッシュ仕上げ18金ホワイトゴールド・ドフィーヌ型時・分針
・ 18金ホワイトゴールド・プレート銅ベース合金 (Pfinodal) 秒針
・ 18金ホワイトゴールド・リーフ型24時間表示針
- 革バンド： ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはマット・ブラック、
18金ホワイトゴールドのカラトラバ十字付折り畳み式バックル付



別添資料

カレンダー物語

ストーンヘンジからパテック フィリップ年次カレンダー5396モデルまで

人類文化の歴史において「今日が1年の何日目か?」は、「今は1日の何時間目か?」よりも重要であった。時刻は周囲の明るさにより容易に推定できた。人々は、明るい昼間は働き、暗くなると眠りについた。それで十分だったのである。これに対し、チョークや炭で壁に毎日、克明に経過した日数を記録していくなどをしない限り、気候の変化のみでは今日が何日であるかを知ることは難しい。天体の位置から1年における日付の進行を正確に知るようになるようになったのは、初期の暦（紀元前3000年の巨大なストーンヘンジや紀元前2000年の携帯できるネブラ・ディスクなど）からである。暦によって、種蒔きの準備をさせるため農民に春の訪れを数週間前から告げることが可能になり、食料を保存させるため冬の訪れを前もって知らせることが可能になったのである。昔の社会において暦は生存に欠かせないものであり、これを記述し、読み、解釈できる者は社会的尊敬と富を享受することができた。紀元前66年、ジュリアス・シーザーが《ユリウス暦》を制定した。これは1年を地球の公転周期（365日5時間48分46秒）に近づけるため、4年毎に閏年を設け、平年より1日多い366日としたものである。しかしこれでは暦の方に遅れが出るため、数百年の間にこれが積もり積もって季節と合わなくなってきた。そこで1582年、時のローマ法王グレゴリオ十三世は、積もり積もった10日間を削除し、10月4日（木曜日）からいきなり10月15日（金曜日）に移行させた上、新しい暦《グレゴリオ暦》を制定した。これは100で割りきれぬ年（1700、1800、1900…）は閏年とせず、さらに100でも400でも割りきれぬ年（1600、2000、2400…）は閏年とする、という例外規定を設けている。《グレゴリオ暦》は400年で約3時間のずれが生じるが、実用上差し支えないとして今日も世界中で採用されている。

時刻は元来、地球の自転周期を基準とする。しかし今日われわれが用いている時刻は、セシウム原子の固有振動数に基づいた国際原子時（理論上変化しない）を基準としている。そのため、これをそのまま使用していると、地球の自転速度の変動で次第に天文観測上の時刻とのずれが大きくなり、実生活上の不都合が生じてくる。そこで国際原子時と天文観測上の時刻のずれを、時々、閏秒で補正したものが協定世界時（UTC）である。最近では2015年6月30日23時59分59秒（UTC）に1閏秒が挿入されている。だがこのようなソリューションは、IT分野ではエラーの原因となりかねない。このため今日、閏秒の挿入を廃止し、2600年に一挙に1閏秒を挿入しようという議論が行われている。

機械式カレンダー

機械式カレンダーとは、簡単にいえば動きの遅い時計である。巧妙な減速機構により秒、分、時を日付、月、年に換算したものである。機械式時計の出現にインスピレーションを与えられた時計製作者たちが、時刻に加え日付、曜日、月、年、王道十二宮、季節なども表示できる機構を開発しようと試みたことは驚くに当たらない。最初はスイス・ベルンの著名なツィットグロッゲ・クロック（16世紀）のような巨大な塔の形をとったが、次第に柱時計、置時計、懐中時計、そして腕時計へと小型化が進んだ。最初の腕時計が発表されてから間もなく、パテック フィリップは永久カレンダーを搭載した最初の腕時計を発表した。1925年に製作された驚異的な腕時計No. 97975（パテック フィリップ・ミュージアム所蔵 Inv. P-72）がそれである。月末の日付を判別し、さらに閏年も考慮して日付、曜日、月表示を行う。この世界初の時計に続き、パテック フィリップは多数の永久カレンダー付腕時計を創作したが、今日これらは愛好家、コレクターから熱狂的に追求められている。カレンダー・ウォッチの頂点はキャリバー89であろう。1989年、パテック フィリップは創業150周年を記念し、4個の実物と1個のプロトタイプを製作した。プロトタイプは今日、パテック フィリップ・ミュージアムに所蔵されている。搭載されたカレンダーは閏年サイクルを考慮するばかり



《報道資料》 ページ 7

でなく、《グレゴリオ暦》の100年と400年毎の例外規定も考慮し、さらにイースターの日付も表示する。

永久カレンダーは開発と製作があまりにも困難であるため、ごく少数の顧客層のみを対象とするものであった。これに対し、月末の日付を考慮せずに日付（一部は曜日も）を表示するシンプル・カレンダー腕時計は、月末が31日以外の月に合わせて年に5回、日付調整を必要とするにもかかわらず、きわめてポピュラーとなった。

有用なコンプリケーションを体現したパテック フィリップの年次カレンダー

1992年、フィリップ・スターン氏（当時パテック フィリップ社長、現名誉会長）は、同社技術陣にシンプル・カレンダーと、構造的に複雑な永久カレンダーのギャップを埋めるようなカレンダー機構の開発を命じた。月末が30日と31日の月を自動的に判別し、1年に1回、2月から3月に変わる際にのみ調整が必要な、年次カレンダーはこうして誕生した。スターン氏は、年次カレンダーは信頼性と使いやすさの模範とならねばならない、と開発陣に指示した。

1994年には主要な開発段階が完了し、重要な作動原理と機構設計に関する特許申請が可能となった。これに続きプロトタイプ・テスト、着用テスト、クロノフィアブル試験（腕時計の包括的品質認定）、および多数の品質・計時精度評価が行われた。そして1996年春、当時のバーゼル世界時計宝飾展（今日のバーゼルワールド）で年次カレンダー5035モデルがパートナー、専門家、競合ブランド、一般公衆に向けて公開されたのである。5035モデルは熱狂的な支持を得、その年の《ウォッチ・オブ・ザ・イヤー》賞を受賞した。以後、パテック フィリップの年次カレンダーは発展を続け、高級時計のベストセラーのひとつであり続けている。今日、パテック フィリップのみではなく高級時計業界全体で、年次カレンダーは《有用なコンプリケーション》の草分けとして認められている。《有用なコンプリケーション》とは、日常生活で使用でき、長期的にもきわめて信頼性が高く、操作が容易なコンプリケータッド・ウォッチをいう。時計を毎日着用し、使用するユーザーの利益がまず第一に考えられているのである。

レバーに代わる歯車

信頼性を実現しているのは、高級タイムピースにおける革新的な特許取得の構造である。パテック フィリップの年次カレンダーは、通常永久カレンダーを駆動させるレバーに代わり、歯車機構によって機能を実現している。歯車の回転運動はレバーの往復運動に比べ調整が容易であり、その結果信頼性が高い。

モジュール構造による多様化

パテック フィリップの年次カレンダーは、最初から独立した機能モジュールとして設計されている。このため、必要に応じ、さまざまな基本キャリバーや時計のタイプに組み入れることができる。この特性は過去20年間にわたり遺憾なく発揮され、ムーンフェイズ、24時間表示、パワーリザーブ表示、クロノグラフ、ミニット・リピーター、ダイヤモンドをセッティングした婦人用モデルなど、21種類におよぶ多様な年次カレンダー搭載モデルが創作されてきた。

技術革新のラボラトリー

年次カレンダーの技術革新における貢献は、アヴァンギャルドなパテック フィリップ・アドバンストリアーチに現れている。これは主に革新的な新素材を研究し、実用化することを目的とするパテック フィリップの研究開発部門である。その重要なテーマのひとつがシリコン・ベースのハイテク素材Silinvar®である。Silinvar®は過去10年以來、高精度、高エネルギー効率、長寿命、高信頼性を実現するものとして時計業界のまったく新しい標準となるに至った。



《報道資料》 ページ 8

Silivar®製ガンギ車、Spiromax®髭ぜんまい、Pulsomax®脱進機を搭載した限定製作のアドバンストリサーチ・モデルが愛好家、コレクターを対象として製作された。これらに年次カレンダー搭載モデルが選ばれたことは、そのコンセプトの優秀さを示すと同時に、パテック フィリップの名声への貢献によるものといえよう。

スマートウォッチ

パテック フィリップ年次カレンダーの有用性、信頼性、多様性、構造、革新性から、1996年という年は《スマートウォッチ》誕生の年として記憶されるべきであろう。もちろんここでいう《スマート》とは《知性ある》という意味に解さなければならない。年次カレンダー誕生20周年に発表されるパテック フィリップ年次カレンダーの最新作5396モデルは、正に《知性ある時計》の名にふさわしいタイムピースである。

